

# 第8回通常総代会



J Aは第8回通常総代会を5月27日、一関文化センター大ホールで開催しました。令和4年度は、第3次中期経営計画実践の最終年度として、あらためて協同組合の価値と存在意義を見つめ直し、J Aがこれまで果たしてきた地域農業、地域社会での機能と役割を再認識しながら、第3次中期経営計画で掲げた最重要施策「農家組合員の所得増大と農業生産の拡大」、「地域の活性化と結びつきの強化」、「組合員に評価される組合経営」を図ることを狙いとし、さらなる経営基盤強化に向けた取り組みの展開により計画の実現に努めます。

佐藤鉦一組合長は総代会にあたり「令和3年度もコロナ禍の中、事業を展開してきたが、新型コロナウイルスの影響は計り知れず、米価の大幅な下落に加え、燃料や肥料、飼料などの農業資材の価格高騰もあって生産現場では大変厳しい状況が続いている」と振り返りました。

令和4年度は、第3次中期経営計画の締めくくりの年度となります。令和3年12月に行われた第46回J A岩手県大会で掲げた「組合員とともに活力ある。いわて農業・地域共生」の未来を創る」のテーマの下、新時代に対応しながら、地域農業を次世代に引き継いでいくために食料の安定供給、地域農業・農村の保全維持、J A経営基盤の確立に取り組んでまいります。



あいさつする佐藤組合長

## 報告事項「J Aバンク基本方針」の変更

### 決議された議案

出席総代数629人（本人出席86人、委任状出席2人、議決権行使書面提出541人）

第1号議案 定款の一部変更

第2号議案 令和3年度事業報告及び剰余金処分

案の承認

（報告）令和3年度貸借対照表、損益

計算書、注記表及び附属明

細書

第3号議案 農業振興・地域活性化を支えるため

の経営基盤強化（拠点の再編・体制

整備）

第4号議案 令和4年度事業計画の設定

第5号議案 令和4年度経費の賦課及び徴収方法

の決定

第6号議案 令和4年度理事に支払う報酬の額の

決定

第7号議案 令和4年度監事に支払う報酬の額の

決定

### 附帯決議

この通常総代会において決議した事項で、行政庁の指示等により修正変更を必要とするときは、決議の趣旨に反しない範囲において、その取扱いを理事会に一任することの決議を求めます。

## 事前説明会の 主な質問と意見要望 (一部抜粋)

**Q** 基幹支店とコミュニティー店舗とはどのような違いがあるのか。

**A** コミュニティー店舗は、主に貯金窓口、為替、共済窓口の業務に携わる店舗となります。融資業務については基幹支店での対応になり、信用・共済渉外担当者は基幹支店の配置になります。



議長を務めた佐藤洋一氏と後藤凌作氏

**Q** 座談会の参加者がコロナのためもあるのか、極端に少なく残念に思った。平日開催ではなく、休日開催にしてはどうか。

**A** 参加者が少ないことについては、平日開催が要因の一つとは考えております。全地域開催するには平日開催がやむを得ず、少人数であっても資料内容が出席

いただいた皆さまに伝わるように、丁寧な説明に努めてまいります。

**Q** 令和3年度事業報告の業務費のうち、広告宣伝費が前年対比11.8%余りとなっているが、令和4年度の事業別活動方針によると、各事業ともインターネット活用を促進していくよう記載されている。SNS等の活用であれば、むしろ宣伝広告費が圧縮されると思うが、JAのFacebookは600人程度しか登録がない。これを具体化させるには、広報誌などを通じてさらなる登録促進の啓蒙を図るべき。前年対比増となった根拠は何か。

**A** インターネット、SNSを通じた情報発信については広報編集委員会等でさらなる効果的な情報発信を検討しているところです。広報誌裏面にFacebook等の二次元コードを掲載するなど、さらなる閲覧・登録者数の増加を図ります。

広告宣伝費につきましては、人材募集のための広告費が前年度からの増額になっています。

## 令和3年度事業の成果

### 資産の状況

(単位：千円)

資産の部合計	167,532,674
負債の部合計	159,258,783
純資産の部合計	8,273,891

### 収支の状況

(単位：千円)

事業総利益	2,388,080
事業管理費	2,268,589
事業利益	119,490
当期損失金	143,965

単体自己資本比率 13.85%

### 剰余金処分の概要

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	250,205,036
2. 任意積立金取崩額	1,674,808
(1) 固定資産圧縮積立金	1,674,808
計	251,879,844
4. 次期繰越剰余金	251,879,844



活発な意見が交わされました



決議で挙手をする総代

**Q** 千厩農機センターの場所が狭いのではないかと転等考えた方がよいのではないかと。

**A** 農機センターの総合的な拠点整備と併せて検討いたします。

## 総代会での主な質問と意見要望 (一部抜粋)

**Q** 組合員へのサービス提供を考えれば、9地区に営農経済および支店の窓口が必要だと思ふ。営農経済・支店業務の複合店を残すべきだと考える。

**A** 拠点の再編については、将来的に持続可能なJA経営基盤の確立のため、総合的に判断し、今回議案として提出しているものです。ご理解賜りますようお願いいたします。

**Q** 野菜の出荷率も上がれば施設の利用率も上がり、新規就農者が増えれば、貯貸率にもつながるはず。農家が高い技術を持ち、他産地に負けないように営農指導をもっと強化してほしい。

**A** 総合事業の中で、さまざまな課題がありますが、営農指導にもさらに力を入れ、取り組めるよう努力してまいります。

**Q** JAバンク営業店システムの導入と店舗再編とあるが、導入に当たっての具体的な数値が示されていない。導入に係る費用などはどのくらいか。

**A** 現在の店舗の課題として、記入書類や手作業による事務手続きが多いため、タブレット端末による伝票レスなど作業の効率化と事務手続きの迅速化を図ります。導入は令和6年4月より順次行われ、約6千万円の導入費用が見込まれています。

### 第3号議案の農業振興・地域活性化を支えるための経営基盤強化（拠点の再編・体制整備）について

J Aでは、使命である地域農業を守り育てていくため、「農業」「くらし」「組織・経営」を重点施策とする第3次中期経営計画の着実な実践に向けて取り組みを進めています。

しかしながら、地域・農業・J Aを取り巻く環境は以前にも増して厳しい状況となっており、現

状の体制で事業を継続すると今後J A経営の収支悪化は避けられず、総合事業体として事業・サービスを提供し続けることが困難になると見込まれております。

このような中、持続可能な農業の振興・地域活性化を支えるための経営基盤強化に向け、拠点の

再編・体制整備等に取り組み、将来にわたりJ Aいわて平泉として、組合員や地域の皆さまへのサービス提供を継続し得る組織を目指して再編を進めてまいります。

#### ● 営農経済センター等の再編

現行の9営農経済センターと2出張所（経済）を6営農経済センターに再編

#### ● 店舗再編

現行の8支店3出張所を7支店（コミュニティ店舗3）に再編

コミュニティ店舗とは主に貯金窓口、為替、共済窓口に携わる店舗です

現在	再編後
一関営農経済センター	一関営農経済センター
厳美出張所（経済）	
平泉営農経済センター	平泉営農経済センター
花泉営農経済センター	花泉営農経済センター
永井出張所（経済）	
千厩営農経済センター	
室根営農経済センター	千厩営農経済センター
川崎営農経済センター	
藤沢営農経済センター	藤沢営農経済センター
大東営農経済センター	大東営農経済センター
東山営農経済センター	

現在	再編後	機能類型
一関中央支店	一関中央支店	基幹
厳美出張所		
平泉支店		コミュニティ
花泉支店	花泉支店	基幹
永井出張所		
千厩支店	千厩支店	基幹
室根支店		
川崎出張所		
藤沢支店	藤沢支店	コミュニティ
大東支店	大東支店	基幹
東山支店	東山支店	コミュニティ

※再編実施時期は令和5年4月を目標にしており、営農経済センターの再編については各種手続き等により前後する場合がございます。支店再編については、各種行政庁からの指示やJ Aバンクでの諸手続きにより前後する場合がございます。

## 令和4年度事業計画

令和4年度は、第3次中期経営計画実践の最終年度として、改めて協同組合の価値と存在意義を見つめ直し、JAの持てる組織力、結集力、総合力を発揮する中で地域農業・農村の抱える課題解決を進めながら、地域農業の振興と暮らしやすい地域づくりに向け取り組んでいきます。

### 1、農業

#### 農家組合員の所得増大と農業生産の拡大

消費者の信頼に応え、安全・安心な農畜産物を供給する持続し続けるいわた平泉農業の確立に向け、「黄金の郷づくり」を通じて担い手の育成と組合員の農業所得確保・増大に取り組めます。

### 2、くらし

#### 地域の活性化と結びつきの強化

食と農を基軸に、総合事業を通じて地域の生活インフラの一翼を担い、地域に根ざした協同組合の確立とくらしの活動の展開で地域との結びつきの強化に取り組めます。

### 3、経営

#### 組合員に評価される組合経営

自ら取り組むJA改革の推進と組合員・地域住民との結びつきを深め、財務基盤の強化と健全な経営基盤の確立で、信頼される協同組合としての存立に取り組めます。

## 組合員等被表彰者（敬称略）

### ● 特別功労者

#### ・ 退任役員

佐藤 和美

花泉町永井

橋本 和幸

室根町津谷川

稲辺 政美

花泉町金沢

千葉 幹雄

藤沢町西口

小野寺孝雄

大東町猿沢

佐々木 正

平泉町長島

蜂谷 幸夫

一関市滝沢

及川 寛

大東町猿沢

千田 榮

平泉町長島

#### ・ 退任農家組合長

那須 和男

大東町摺沢

金野 忠三

室根町矢越

金野 義

一関市宮下町

畑山 芳三

千厩町千厩

熊谷 広満

室根町津谷川

千葉 一夫

一関市巖美町

### ● 優良農家組合長（退任農家組合長）

佐々木森夫

花泉町涌津

佐藤 清喜

一関市真柴

千葉 勝仁

藤沢町西口

### ● 優良協力組織

農事組合法人 ふる砂徳ファーム

藤沢町砂子田